



◆大盛況のしべつあきあじ
まつり

◆東方沖地震から1年…
「町総合防災訓練」行われる

このサケ、元気いいねえー。

秋晴れとなった10月1日、第31回しべつあきあじまつりがサーモンパーク広場で開かれ、家族連れなど約1万5千人でにぎわいました。

頭に手ぬぐい、胴長姿でのサケのつかみどり競争=写真=では、会場から大きな歓声が沸いていました。

1万5千人でにぎわう

～第31回しべつあきあじまつり～

好天に恵まれた十月一日、町観光協会主催の第三十一回しべつあきあじまつりが、サーモンパーク広場で開かれました。会場には約五百枚の大漁旗が飾られ、サケづくしのあきあじ鍋、そば、串焼き、チャンチャン焼きなどの店が並ぶ「標津グルメ村」が店開きしたほか、東神楽町が友情出店し、花や野菜を格安で販売しました。

サケの原価販売では身おろしサービスもあることから売れ行きは上々。また、昨年から行われているイクラ丼の千食無料配付では、時間前から長蛇の列ができたほどの人気ぶり。イベントでは、とどわら太鼓演奏、ちびっ子宝ひろい大会、サケのつかみどり競争、歌謡ショー、東京デイズニードルペア招待券が当たるおなじ衆豊漁もちひろい大会などが行われ、会場は約一万五千人でにぎわいました。

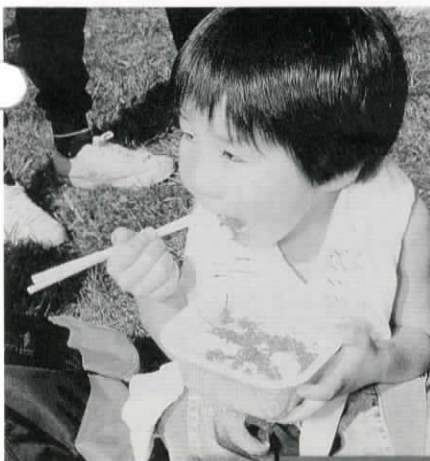
またこの日、サーモン科学館では小、中学生の入館を無料とし、魚道水槽のサケのそ上に歌声をあげていました。



▲たくさんの人でにぎわった“あきあじまつり”



▶売れ行き上々のサケの原価販売



▲子どもにも人気だった「イクラ丼」

安い
新鮮



▲好評だった漁業者による身おろしサービス

▶時間前から長蛇の列ができたイクラ丼の千食無料提供

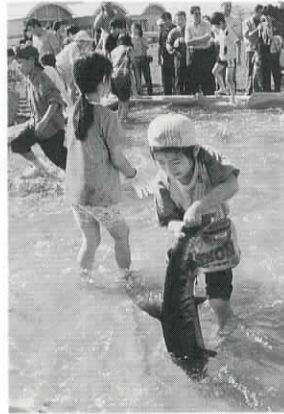
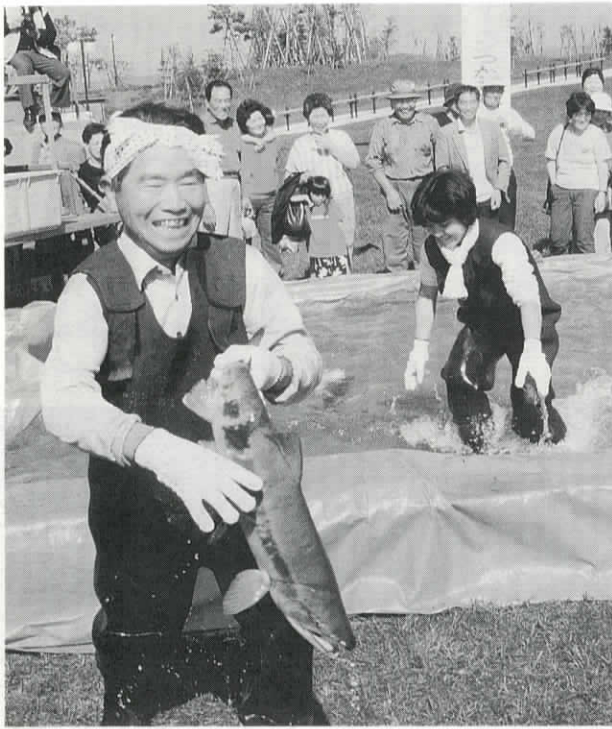


いっしょ

イクラ丼1,000食 無料提供

サケの原価販売
身おろしサービス!!

➡ 大好評!



イ
ベ
ン
ト

あきあじ大漁つ
かみどりレース



楽しい



おなご衆豊漁
もちひろい大会

東京ディズニーランドペア招待券は…



◀ 幸運なもちをひ
いた二人で決勝の
ジャンケン!



◀ “グー”で勝ってガッツポーズ!

防災への意識を新たに

～1年前の東方沖地震を教訓に

1,600人が参加して防災訓練～

町では北海道東方沖地震から丸一年を迎えた十月四日、町鳩ヶ丘グラウンドで標津町総合防災訓練を行いました。

この防災訓練は大規模な災害を想定し、それぞれの防災関係機関や地域住民が一体となり応急対策訓練を実施。災害時の防災活動の円滑な推進と住民の防災意識の高揚を図り、いざという時の災害に備えることを目的とするものです。

「午前10時、根室半島南東沖でマグニチュード8・1の地震が発生、本町では震度6の烈震で家屋の倒壊による負傷者、火災など多くの災害が発生。津波警報も発令された」という想定で実施。訓練は午前十時の地震発生を知らせるサイレンとともに始まり、通信訓練や小中学生、高校生の避難訓練、婦人部による炊き出し、救助訓練などが次々と行われたほか、消火器の正しい使い方の実習、巡視艇やヘリコプターによる救援物資の搬送などが行われました。

参加者は町職員や標津市街の児童・生徒全員、一般町民、消防、警察関係者のほか、陸上自衛隊標津分屯地や羅臼海上保安署職員など千六百人。訓練は迅速、的確に行われ、参加者は防災への意識を新たにしました。



多くの町民が参加した防災訓練であいさつする小田桐町長



防災ずきんをかぶり避難する標津小の児童たち



消火器の正しい使い方の実習も行われた

非常持出し品の

備えは：

（成人では15kg、

女性で10kgを目安に）

貴重品

現金・預金通帳・印鑑・健康保険証…

携帯ラジオ・懐中電灯

予備の電池も忘れずに…

衣類

セーター・防寒着・下着・毛布・軍手…

救急セット

消毒薬・傷薬・脱脂綿・包帯・ガーゼ…

非常食

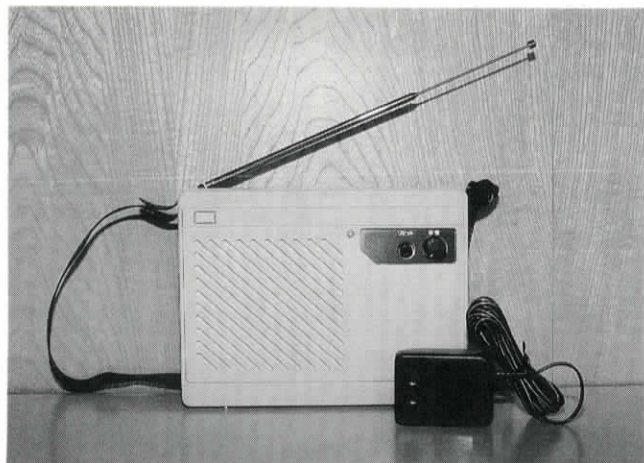
（三日間程度）

乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレート・チーズ・ミネラルウォーター…

その他

マッチ・ライター・防水ビニールシート・ナイフ…

災害時に備えて町内全戸に設置される戸別受信機



「戸別受信機」の設置にご協力をお願いします

防災行政無線 工事始まる

「標津町防災行政無線」の工事が、いよいよ始まりました。

さきにお知らせしましたようにこの防災行政無線は、災害発生時をはじめ、通常時も町からの情報などを早く正確に伝達していくものです。

情報は役場（親局）、緊急時などにおいては標津消防署（遠隔制御局）から送信され、ひとつは屋外拡声子局（街頭拡声機）から知らされ、更に、皆様の各家庭内には戸別受信子局（受信機）から届けられる仕組みとなります。

受信機は今後、設置業者により各ご家庭に設置されることとなります。

まず、大きさは横22cm、縦17cm、厚さ6cm、重さ900g（電池4本含め）写真Ⅱのようにコンパクトな物で、据付け・壁掛・携帯のいずれにも使用できます。また、音量は通常調整された音量で放送されますが、緊急時には最大音量になるような設定がされ、「忘れた頃にやってくる災害」に対応できるものとなっています。

このほか、通常はAC100ボルトの電源で使用しますが、停電になると内蔵の乾電池に自動的に切りか

わります。

このように、特に災害時には効果のあるものですが、戸別受信機の設置にあたり、次のことについて町民の皆様のご協力をお願いいたします。

「戸別受信機」設置に伴うお願い

- ・受信機は町からの貸付品となりますので、設置の際、「保管書」または「使用書」等に、確認の意味での記名・捺印をお願いします。
- ・電気料（月一〇〇円程度）及び電池交換時（一年後、または二十四時間停電時）の電池代（単二形・四個）負担をお願いします。
- ・設置の際、電波の届きづらい箇所等について、家屋へのアンテナ設置のご承諾をお願いします。
- ・受信機は取扱いに十分注意し、故障もなく長くご使用いただけるようお願いいたします。

★お問い合わせ先：役場住民課防災係（☎2-2131 内線140）へ。

避難の心得

- ① 避難の前に火の始末
- ② 避難時の荷物は最小限に
- ③ 留守家族には連絡メモを
- ④ 避難は徒歩で
- ⑤ お年寄りや子供としっかり手をつないで
- ⑥ 避難場所までは、狭い道、塀ぎわ、川べりを避けて移動する
- ⑦ 必ず指定された避難場所へ

地区	避難場所
標津	ベキシリ山・望ヶ丘森林公園
浜茶志骨	タブ山
忠類	忠類墓
伊茶仁	伊茶仁ふ化場
浜古多糠	浜古多糠神社高台
薫別	薫別川左岸高台
崎無異	崎無異神社

津波のときの

「避難場所」の

確認を！



景観づくりの意識 高まる

農村生活を潤いのあるものにし
ようと、町内の各農家では農家周
辺の環境整備が進められています。

中でも、農家表示看板について
は、各営農推進組合単位で統一し
たデザインで整備が進んでいます。

すでに西北標津営農推進組合十
四戸と北古多標津営農推進組合八戸
が設置し写真Ⅱを終えています。

町では現在、景観整備のための
ガイドプランづくりを進めていま
すが、農家看板の統一は、これに
先がけて取り組まれているもので
す。整備に対しては、町と農協が
補助を行っています。

農家看板の統一は、今後も各地
区で取り組まれることになってい
ます。



一方、漁業番屋看板についても
野付半島地区で、統一した整備が
計画されており、町内の景観づく
りに対する意識が高まりを見せて
います。



川北で交通安全住 民大会

全国的に異常なペースで死亡交
通事故が多発している現状から、
交通事故の撲滅のため、地区住民
が一体となり、事故の恐ろしさを
再認識し、交通安全意識の高揚を
図ろうと、川北地区町内会連合会
(井澤義次会長) が主催となり、九
月二十一日、交通安全住民大会が
行われました。

大会には女性交通安全クラブや
町内会、老人クラブなど七十人

交通安全キャラバン隊 が安全運転を訴える

が参加。同地区連合会長や小田桐
町長、中標津警察署長などのあい
さつのあと、幼稚園児十三人によ
る交通安全宣言やシートベルト体
験試乗会が行われ、交通安全を呼
びかけました。

秋の交通安全運動に合わせて、
九月二十一日、交通安全根室キャ
ラバンの一行が管内を回り、交通
安全の決意表明を行うとともに街
頭啓発を行いました。

同キャラバンは、根室支庁や同
支庁地区交通安全推進協議会、一
市四町などが共同で実施したもの
で、支庁職員や各地の青年、婦人
などが参加しているもの。



本町では、町商工会前で交通安
全メッセージの伝達式が行われ、
商工会青年部や婦人部が参加。ス
ピードダウンやシートベルト着用、
無謀運転追放、歩行者保護などを
訴えるメッセージが中標津町代表
から本町代表の商工会青年部・渡
辺一弥さんに手渡されましたⅡ写
真Ⅱ。



標津中と福栄中が 姉妹提携10周年

標津中(山西幸三校長)と千葉
県市川市立福栄中(松本篤治校長)
が姉妹校として提携を結んで今年
で十周年を迎えたことから福栄中
の生徒が来町し、九月十九日、記
念式典が標津中で行われました。
記念式典では両校長のあいさつ
などのあと、福栄中の生徒から市
川市の「クロマツ」写真Ⅱ、標

津中からシャープペンシルが送ら
れ、最後に山田研太郎福栄中生徒
会長が「これからも絶えることな
く交流を続けたい」、大菅標津中
生徒会長から「この交流がいつま
でも続くことを願っている」とそれ
ぞれあいさつ、交流の継続を誓い
ました。

町内全戸に秋サケ 無料配布

標津漁協サケ定置部会(馴山修
治会長・百三十一人)は、町民へ
の還元と消費拡大を目的に、九月
二十六日、全戸に秋サケの無料配
布を行いました。

配布したのは、定置網漁業者を
除く約二千百世帯で、一戸当たり
オス三匹、合計六千四百匹。

町民へは各町内会を通じて配布
され、秋サケを受け取った町民は
思わずニッコリ。



縄文土器で秋あじ 鍋もーポー川まつりー

町教育委員会主催の第十六回ポー川まつりが、十月十五日、同史跡自然公園で行われました。

会場には五十匹ほどのこいのぼりが飾られ、焼き鳥、焼きそば、秋あじ串焼きなどの出店のほか、ホットミルクの無料サービス、もちつきやせんべい焼き体験、金魚すくい、竹トンボ飛ばし、三人縄跳びなどのゲームが行われ、訪れた約四百人の親子連れは、楽しい一日を過ごしました。

また、五月から月に一度活動している「自然食べ隊」の隊員が複製の縄文土器で秋あじ鍋を作ったり、サケのエラの天ぷらを揚げて訪れた親子連れに試食してもらい喜ばれました。



標津で東北北海道 川柳大会開催

第三十二回東北北海道川柳大会が九月十七日、東北北海道川柳連盟と標津川柳社の主催により町農村環境改善センターで行われました。同大会が標津町で開催されるのは今年で三度目となり、地元のほか、釧路、旭川、札幌などから約八十人が参加。

当日は、標津川柳社主幹の大桃宇志也さんのあいさつや小田桐町長の祝辞、同川柳連盟齊藤大雄会長が「川柳の姿と心」と題して講演したあと、宿題一部（自由吟）と二部（「船」と「満」）の披露が行われ、日頃の川柳の腕前を披露していました。



楽しみながら森林フ ァミリースクール

森林の有する公益性、経済両面での様々な機能と具体的な林業行為について、実体験を通して理解してもらおうと、九月二十三日、望ヶ丘森林公園で町主催による森林（もり）づくりファミリースクールが行われました。

参加したのは親子三十人。根室北部地区林業指導事務所職員からの説明を受けながら同公園内の森

林を見学し、樹名当てクイズや林齢調査、枝打ちなどを体験したほか、表札づくりにも挑戦。参加者は森林について楽しみながら学びました。

札幌で生涯学習 フェスティバル

生涯学習に対する理解を深め、学習活動に積極的に取り組むきっかけになることをめざし、第七回全国生涯学習フェスティバルが同実行委員会の主催により、九月二十八日から十月二日まで、札幌市で開催されました。

全国から二百六十四の団体、市町村が出展した生涯学習見本市には本町からも参加。生涯学習に関する情報の提供、活動の紹介のほか、「サケ」を中心とした個性あるまちづくりについてPRを行ってきました。



下水道の知識を深 めるー下水道フェアー

川北市街地区の公共下水道事業が本年十二月に着手（予定）するに伴い、住民の下水道への関心と知識を深めてもらおうと、このほど川北公民館前駐車場で標津町下水道フェアが開かれました。

会場では臨時の下水道相談室の開設や下水処理の実演模型展、写真展、昨年の北海道東方沖地震による下水道被災状況写真展、宅地内排水枡（ます）、水洗用便器などの展示が行われたほか、わたあめ、かき氷の無料サービスやヨーヨーすくい、ラッキー抽選会も行われました。

会場を訪れた親子連れなどの町民は、楽しみながら下水道について知識を深めました。



秋晴れの中、オホ
ーックマラソン

九月二十四日、第二十三回オ
ホーックマラソンが、町体育協会、
町教育委員会の主催により行われ
ました。

国後島をのぞむ国道二四四号を
走る五、十、二十キロの三コース
で、参加者は小学生から五十代ま
で約二百五十人。

開会式で、込堂敏安さん（上古
多穂小教諭）が「オホーックの風



となり完走します」と力強く宣言
したあと町総合体育館前をスター
ト。五キロ走では最後まで競り合
う姿も見られ、秋晴れのもと、参
加者は心地よい汗を流していまし
た。

農業者がスポーツ
を楽しむ

町内の農業を営む家族同士の交
流を図ろうと、町農業協同組合の
主催により、十月十四日、川北農
村広場などを会場に農民スポーツ
大会が行われました。

この大会は同組合主催のデー
リーフェスティバルの一貫として
行われたもので、約四百五十人が
参加。

パークゴルフやミニバレー、
ゲートボールが行われ、参加者は
心地よい汗を流しました。

レスリングの太田
さん招いて講演会

九月十四日、町教育委員会、町
スポーツ少年団本部の共催による
スポーツ講演会が、オリンピック
のレスリング代表選手を四度務め
ロスアンゼルスとソウルで銀メダ
ルを獲得、現在も現役として活躍
している太田章さんを講師に町農
村環境改善センターで開催されま
した。

テーマは「ネバーギブアップ」。
会場には約百人の町民が訪れ、
太田さんの「何事にも決してあき
らめずに頑張ることが重要」とい
う自らの経験を踏まえた話に、町
民は熱心に聞き入っていました。

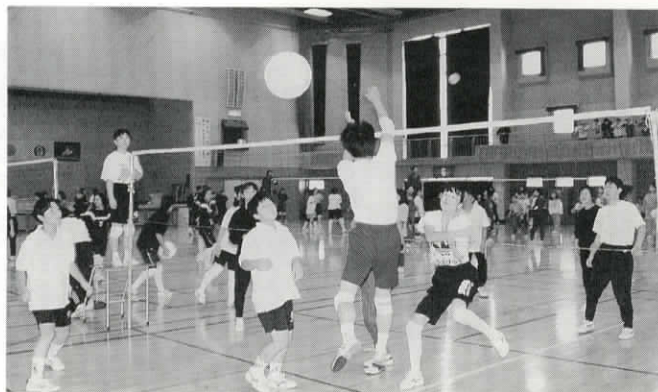
ふれあいスポーツデー
・チャリティープラザ

千五百人が
参加



体育の日の十月十日、「ふれあい
スポーツデー」として、町総合体
育館を会場に各種スポーツが行わ
れ、また、同日は合わせて「チャ
リティープラザ'95」が行われました。
この両イベントには約千五百人
が参加。

同スポーツデーは道スポーツ百
選制定事業で、この日は総合体育



館などを会場に小学生から一般ま
で三十チームが参加したミニバ
レーボール大会やゲートボール大
会、パークゴルフ大会、玉入れ選
手権大会が行われ、チャリティー
プラザ'95では、同体育館内で共同募
金コーナーや味覚市、ビックリ市
Ⅱ写真上Ⅱ、福祉施設製品の即売
などが行われたほか、美幌駐屯地
音楽隊の演奏も人気を集めました。
参加者たちはスポーツを楽しむ
とともに福祉についても関心を高
めました。



～読みたい本のリクエストや
ご意見はこのポストへ～

図書室に戦後五十 年コーナー開設

今年には戦後五十一年の年。町中央公民館図書室では、二度とあの恐ろしい戦争を繰り返さないためにも、戦争の恐ろしさを再認識してもらおうと、「終戦五十周年特集」コーナーを設置し、町民の関心を集めています。

また同図書室では、「こんな本が読みたい」などの要望に応えるため「読者の声ポスト」を設置していますので、お気軽にリクエスト



してください。

■図書室開館時間

午前九時～午後五時（月・金・土・日、祝祭日、夜間は同公民館が開館している時のみご利用できます）



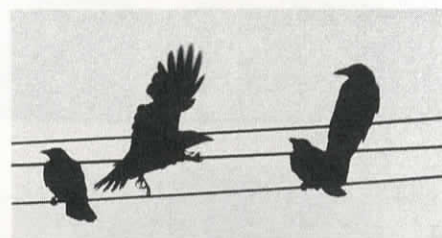
町に五十万円寄付 ～ゼンセン同盟～

九月二十二日、ゼンセン同盟（東京都）の堀井副書記長ら一行が来町し、北方領土返還運動に役立ててもらおうと町に五十万円を寄付されました。写真。Ⅱ。

ゼンセン同盟は繊維、衣料、流通、フード、サービス産業で働く労働者六十二万人で組織する労働組合。昭和六十二年から毎年町に寄付をいただいております。町ではそれを基金に積み立て、北方領土館の整備、啓発看板の設置など北方領土返還運動に役立てています。

磁石でカラスによる 農業被害を防ぐ!?

—茶志骨の太田真さんが考案—



牧草ロールバックのそばに磁石をひもで吊し、カラスによる被害を防ぐ太田さん

カラスによる農業被害を何とか防ごうと、町内茶志骨の酪農家・太田真さん（71）は、棒形磁石を使ったカラス退散法を考案しました。

太田さん宅でのカラスによる被害は、①牧草ロールバックに穴を開けられる ②鶏の卵が盗まれる（鶏舎入口に網をかけてもそれをはずして入り、年間百五十個もの損害） ③ビニールハウスのトマトや



牧草ロールバックにカラスが穴を開ける被害に悩む酪農家

ナシ ④花畑のチューリップなどの赤い花をいたずらするなど、以前から手をやいていました。

そこで昨年六月、テレビで「カラスの行動は、地面から出ている磁気波を利用して飛んでいる」ということを知り、これをヒントに試行錯誤を重ねた結果、強力な棒形磁石（長さ8cm、直径1.2cm）をひもで吊し、その下には磁石が回転するように牛のネック番号札を取り付け、牧草ロールバック置場や鶏舎の入り口、花畑などに設置し試験開始。その後、カラスは近寄らなくなったといっています。

「磁石を置いて一カ月後、偶然かもしれませんがカラス同士が空中でぶつかり合い、一羽が自宅前に

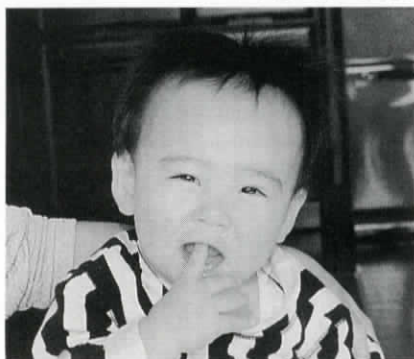
落下し、もう一羽は低く飛び去って行きびっくり」と奥さんのスエノさんの話。以来現在まで被害は全くなくなりました。

酪農家では七年ほど前から便利さなどから牧草のロールバックが普及していますが、カラスがバックに穴を開け放っておくと腐敗することからその都度補修しており、被害が多く出ている現状です。

太田さんは「今まで鏡を吊したり、テングスを張るなどしてきたが効果は十日ほど。今回は効果が長い」と、この磁石の威力に目を細めています。ただ、「自宅そばで生まれたカラスの幼鳥は、磁石へのなれのせいか効果が薄い感じがする」とも話しています。

桜井(正人)さんちの

ゆう すけ
優介くん (H6.11.1生)
川北共栄町 114



身長 体重

★生まれた時… 46.8cm 3,100g

★今では……… 74.3cm 10.2kg



お母さん
からの
メッセージ

何でも食べて元気の良い優介は、いつも一つ年上のいとこの子に負けじと遊んでいます。

将来は元気で思いやりのある子に育ってほしいですね。

新町民に
スポット

根室支庁根室北部地区
水産技術普及所長

福井 滋さん

井滋さん(43)。

仕事は漁業者の相談相手として漁業経営、増養殖、漁業技術、水産物利用加工の相談など水産技術の普及や啓もうを行っており、具体的には漁協からの要望事項を基に水産普及計画を立

めることになりました

標準の漁業については、「この

地域はサケ・ホタテとも安定生産が可能などところ。価格が下落している中、漁業者は消費者の現場の生の声を聞き、相手を研究し発想していくことからスタートするべ



「サケは消費者
が好む提供方
法を」

「今年五月、関係者が大勢集まって大々的に行っているサケの稚魚放流式に驚き、サケの増養殖では先進地だと思いました」と話すのは、今年四月に釧路市から転勤して来た根室支庁根室北部地区水産技術普及所長の福

井、漁協とタイアップし漁業振興に取り組んでいます。「先日、漁協青年部から『サケが安値のため、サケの調味すり身の試作製品の開発をしたい』と相談があり、早速、町ふれあい加工体験センターと提携し、これを近日中に進

き。その点、現在進めているサケ・ホタテ消費流通対策協議会の活動は、一歩前進したと思います」。

「サケは東京、大阪の消費者から見ると、色や味で輸入サケ(銀サケ、トラウト、アトランティックサーモン)を好んでおり、輸入サケが日本の秋サケ以上の供給量があり、これが価格形成の基本になっています。日本の秋サケが輸入サケににくい込む方法は、従来の提供方法から消費者が好む提供方法を開発することが競合関係に勝てる一つの方法。思いつきやアイデアで進める単純なものではなく、中長期的な戦略をもって事業を推進していかなければと思います」。

▽兵庫県神戸市生まれ。

時事川柳

何故なぜが 増えて日本 どこへ行く
老いるのも 望むところは 中ぐらい
官官は 一概にはいえぬ 必要悪
退職後 フレッシュ教師と ともにする
月例の 作務の仕事に 汗流す
遠い島 知人がいれば 近くなり
秋風に ポスター舞って 残る画紙
紅葉の美 いで湯につる 露天かな
コーヒーの さめぬ二階の 新世帯
ニートンも あの世界でなく 空中浮遊
秋なすび 嫁に食わせて 平和です
義理堅い ドングリ大地に 借り返す
官官接待 国民カンカン

布施惣一郎
"
"
今泉 順一
"
"
戸村 寿生
"
"
太田 明人
"
"
木枯紋次郎

フレッシュさん



「いろいろと
勉強したいです」

関根 美香さん
(19)

＝(南和光勤務)＝

中標津農業高校卒業後、昨年四月に同社に入社した関根さん。主な仕事は、電話の応対と経理事務。「仕事は何か慣れましたが、初めのうちは電話応対に苦労しました」と笑って話す。

「職場の皆さんは明るくて、和やかな雰囲気の中、楽しく仕事をさせていただいています」

「今後は、もっと多くの方々と接し、勉強していきたいです。また、会社の中であてにされるようにがんばりたい」

趣味は、お菓子づくりとドライブ。休日には昨年新車で購入した愛車のカローラIIで、釧路や帯広に友達と出かけるそつです。

標津町職員の 給与などの状況 (一般会計分)

職員の給料は、民間企業の従業員の給与実情を考慮して定めている国家公務員の給与や他の地方自治体職員の給与に準じて決めることになっており、具体的には「職員の給与に関する条例」で決められています。

その概要について、お知らせします。

人件費とは、職員に支給される給与の他に、使用者が負担すべき共済費(保険・年金などの経費)などを含む広い範囲の費用をいいます。

なお、「一般会計」とは、「病院事業」「水道事業」「下水道事業」「国民健康保険事業」などの特別会計を除く会計をいいます。

◎人件費の状況(一般職員分)

区 分	住民基本台帳人口 (年度末)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 (B/A)
平成6年度 決算	6,793	7,462,514	86,001	1,042,296	14.0

◎職員給与費の状況(当初予算計上分)

区 分	職 員 数 A	人 件 費				人件費 合 計 B	1人当の 人件費 B/A
		給 料	職 員 手 当	期末・勤勉手当	計		
平成7年度	143	499,052	107,081	235,759	841,892	1,020,861	7,139

(注) 職員手当には退職手当は含んでおりません。

◎職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況(平成7年4月1日現在)

経験年数	区 分	10年～15年	20年～25年	30年～35年
一般行政職 (一般事務・保母等)	大学卒	305,300	353,400	—
	高校卒	213,400	321,000	407,400

(注) 経験年数は、職員として採用され引き続き勤務している年数です。

◎特別職の報酬等の状況(平成7年4月1日現在)

区分	給料等月額	期末手当の 支給割合
給 料	町 長 847,000	年 5.2月分 (勤勉手当含む)
	助 役 678,000	
	収入役 —	
	教 育 長 610,000	
報 酬	議 長 282,000	年 5.2月分
	副 議 長 225,000	
	常任委員長 203,000	
	議 員 183,000	

(注) 上記の金額は、中標津町、別海町、羅臼町と同額です。



◎職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況(平成7年4月1日現在)

区 分	一般行政職 (一般事務・保母等)
平均給料月額	294,306
平均給与月額	308,640
平均年齢	38.0

(注) 給与欄は、給料に扶養手当を加えた額です。

成人を迎えられる皆さんへ

1月7日に成人式が行われます

町教育委員会では、平成八年成人式を平成八年一月七日に行う予定です。

平成八年の成人対象者は、昭和五十年四月二日から昭和五十一年四月一日までに生まれた方で、合計百十二人（九月十三日現在）。

次の方々が対象者ですが、誤り（氏名の誤記、脱落など）記載漏れ、また、普段他市町にお住まいの方で当町の成人式に参加を希望される方は、十一月三十日（木）までにご連絡ください。

●連絡先 教育委員会社会教育課（☎2-2855）

成人式を迎えられる皆さん（九月十三日現在）

- ▼新川上町 椎久秀男くん、猪狩真由美さん、石塚真貴さん、山崎美樹さん
- ▼川上町 篠田和歌子さん、中川笑子さん、村瀬しのぶさん
- ▼若草町 石黒剛志くん、田村元博くん、森和則くん、石川憲子さん、大西里枝さん
- ▼曙町 浅野敏くん、小田貴樹くん、小林勝くん、畑広幸くん、小山内恵さん、千葉光代さん
- ▼緑町 大島新人くん、斉藤真司くん、長尾真樹くん、岡部雅美さん、木下美佳さん、佐々木亜希子さん
- ▼栄町 加藤宏昭くん、竹本幸司くん、石橋千尋さん、大橋睦美さん、松本美由紀さん
- ▼弥栄町 五十嵐賢一郎くん、磯谷孝和くん、工藤俊介くん、小針宏介くん、多田貴博くん、菊地三冬さん
- ▼本町 植野大作くん、戸田雅子さん、畠山奈緒美さん
- ▼鳩ヶ丘町 日下部文昭くん、中野恵美さん
- ▼双葉町 森龍之介くん、植木広美さん、金澤ゆかりさん、平藤享恵さん、古瀬佳美さん
- ▼望ヶ丘町 坂本正和くん、高橋裕美さん、濱向有理子さん、藤本貴子さん、水戸綾子さん、日川礼

- 子さん
- ▼桜木町 米持敏弘くん、林佳奈子さん、増田志津子さん
- ▼住吉町 金田順也くん、山崎達くん
- ▼東浜町 木村幸さん、田中佐智子さん
- ▼伊茶仁 佐賀賢二くん、村山ひとみさん、馴山文江さん
- ▼忠類 小野和博くん、葛西亜希子さん
- ▼薫別 中野一矢くん、佐沢可奈子さん
- ▼崎無異 中野理枝さん
- ▼川北寿町 荒井哲也くん、片岡清市郎くん、木庭代貴くん、松浦

- 和昭くん、伊藤花織さん、下本美香さん、西田真知子さん、松本琴美さん
- ▼川北桜ヶ丘町 青山夕輝くん、野口剛志くん、原康洋くん、小野千春さん、木下朋子さん
- ▼川北旭町 鈴木千尋くん、菅原昌子さん、鈴木麻奈美さん
- ▼川北共栄町 藤本雄大くん、阿部まゆみさん、金澤円香さん、合田真由美さん
- ▼南川北 木村幸裕くん、桜井拡基くん、弓場誠くん、数間宏美さん
- ▼北川北 葦沢昌樹くん
- ▼北標津 松井一哉くん、大桃優子さん、行田智子さん、栗栖望さん、田中真由美さん、田中美佐緒さん、早川恵美子さん
- ▼西北標津 塚田純平くん、山下英之くん
- ▼古多糠 成田秀司くん、清水あきさん
- ▼西古多糠 杉本恵さん、高橋千鶴子さん
- ▼南古多糠 田村崇くん
- ▼北古多糠 小場憲一くん、菅野勝幸くん
- ▼上古多糠 松下博くん
- ▼茶志骨 大石篤くん
- ▼東茶志骨 嶋貴美粧さん
- ▼茶志骨パイロット 河崎佳代さん



今年の成人式の模様

寄付ありがとうございました

ごじょういしました

●町に――

北方領土返還運動啓発費として

・念法真教団

体育文化振興基金として

・標津スケート少年団育成会

・湯浅清吉さん

●町社会福祉協議会に――

活動資金として

・聖友標津支所

●中央公民館図書室に本を――

・佐藤哲二さん

●標津病院に――

・古多糠老人クラブ

●はまなす苑に――

・標準郵便局・古多糠町内会

・川北中学校・寿会（羅日町）

・染覚寺仏教婦人会

・丹伊田保義さん

町内の交通事故

人身事故	2件 (13)
負傷者	2人 (16)
死亡者	0人 (2)
物損事故	17件 (161)

(9/16～10/15)

()は累計

～シートベルトは

あなたの命を守ります～

雇用

事業主の方へ—— 今一度採用計画の検討を

新規高等学校卒業者の選考・内定はすでに開始されていますが、景気低迷の影響を受け、管内求人数は昨年同様非常に厳しい状況となっています。

就職決定率は21.1%（9月末）と前年同月より上回っているものの、学校によっては落ち込みが見受けられ、更に今後の就職決定も決して楽観できないことから、このままでは就職浪人も予測される事態となっています。

ご承知のとおり、今後高齢化の進展により若年労働者の需用は益々増大するものと予想されます。将来の基幹労働力となる優秀な人材の確保、企業の活性化のためにも、今一度採用計画を検討され、求人申し込みされるようお願いいたします。

★お問い合わせは、ハローワーク中標津（☎01537-2-2544）まで。

食糧

「新食糧法」が 新しく施行されます

米の生産、流通をめぐる状況が大きく変化し、さらにガット・ウルグアイラウンドの合意、成立を経て、米については関税化の特例としてミニウム・アクセス米の輸入が開始されるなどの状況の変化の中、平成6年12月に食糧管理法に変わる「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（新食糧法）」が公布され、平成7年11月から施行されます。

■主な改正点

- ①民間流通による自主流通米を主体とし、政府は政府米の操作を通じて、備蓄とミニウム・アクセス米輸入の運用を行い、流通規制の大幅な緩和を図ります。
- ②生産調整は生産者の自主的な判断を尊重して実施していただき、稲作生産の活性化を図ります。

③政府は平成5年のような米の不作に備えて、150万トンの確保を基本として、米の備蓄態勢を整えます。

★詳しくは、北海道食糧事務所釧路支所（☎0154-23-4401）まで。

イベント・催し

北方領土シンポジウム in ねむろ

～返還運動50年

決意を新たに今後を考える～

■日時 11月12日（日）10時～16時

■場所 根室市総合文化会館

■内容 ①青少年フォーラム

10時40分～12時15分

②パネルディスカッション

13時15分～16時

■主催 北海道

■共催 北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）

★参加希望・問い合わせは、役場総務課北方地域交流推進係（☎内線206）まで。

子育て講演会

■日時 11月18日（土）午後2時～

■場所 町農村環境改善センター

■テーマ 「今、本当の豊かさを求めて」

■講師 松岡義和氏

市立名寄短期大学生生活科学科児童専攻教授

■主催 おはなしの会スミィー

中央公民館・川北公民館

※入場料 1人200円、託児を行います。

防災・防犯

11月9日は 「119番」の日です

■119番の正しい通報の仕方

何が起きたかはっきりと。

「火事です」「救急です」

火災の場合…

住所、氏名、目標そしてどこから火が出たかをはっきりと。

救急の場合…

①住所、氏名、目標などはっきりと。

②急病または交通事故など事故種別と

負傷者の容態や人数をはっきりと。

—標津消防署—

郵便局

お年玉くじつき 年賀はがき発売中

11月1日よりお年玉くじつき年賀はがきが発売されました。お早めにお買い求めください。

—標津郵便局—

工事

国道工事のお知らせ

国道244号線浜茶志骨、道道野付風連公園線交差点改良工事を次のとおり実施しますので、ご協力をお願いします。

■工事期間

平成7年12月上旬～平成8年3月末日

■工事箇所

交差点～茶志骨橋～神社（延長400m）

★詳しくは、役場建設課管理係（☎内線223）まで。

川北温泉道路通行止めの お知らせ

現在、川北温泉へ向かう林道の復旧工事を行っています。温泉愛好者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力とご理解をお願いします。

■通行止め期間 11月下旬まで

—標津営林署—

忠類川・マス釣獲調査

サケ2,906匹・マス2,170匹 ～忠類川釣獲調査状況～

～10月1日から15日までの調査状況～

日	従事者数	サ	ケ	カラフト マス
10/1～15	956人	982匹		47匹
累 計	3,591人	2,906匹		2,170匹

※累計は、調査開始（8/11）からの数字

保険料納付期間と保険料免除期間を合せて、最低25年の期間が必要です。

病气やけがなど、何らかの理由により25年の受給期間を満たすことができない方は、従来では64歳まで任意加入して保険料を納めることができましたが、これでも期間が不足の方は、さらに希望により65歳から69歳まで加入することができますようになりましたので、国民年金受給権獲得のため、あきらめないで年金受給へつなげましょう。

★国民年金に関する相談、お問い合わせについては、役場住民課国民年金係（☎内線130）まで。

スポーツ

☆ 11月のスポーツ☆

1日（水）～

▷第14回町バレーボールリーグ戦大会
〔9時～総合体育館〕

4日（土）

▷第12回（社）日本空手協会標津支部大会
〔9時～鳩ヶ丘体育館〕

5日（日）

▷鉦根ブロック少林寺拳法合同練習及び審査会
〔9時～総合体育館〕

8日（水）～17日（金）

▷ファミリー卓球教室
〔19時～総合体育館〕

12日（日）

▷管内秋季高校バレーボール大会
〔9時～総合体育館〕

19日（日）

▷第18回秋季町民卓球大会
〔9時～総合体育館〕

21日（火）

▷第11回老人レクリエーションの集い
〔10時～総合体育館〕

26日（日）

▷スポーツ少年団レクリエーションカーニバル兼青少年交流ミニバレーボール大会
〔9時～総合体育館〕

健康相談・健診日程表

〈11月分〉

※農改センター……
農村環境改善センターの略

乳幼児

■乳幼児相談

21日（火）〈標津〉
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／農改センター〕

※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象

22日（水）〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北公民館〕

※4・7・10・13カ月児対象

■歯ピカ教室

6日（月）・7日（火）
〔9時30分～10時30分、13時30分～14時30分／農改センター〕

■予防接種（ポリオ）

8日（水）〈川北〉
〔13：30～14：00／川北公民館〕
10日（金）〈標津〉
〔13：30～14：00／中央公民館〕

妊 婦

■ママスクール

10日（金）・17日（金）
〔13時～15時／農改センター〕

成 人

■一般健康相談

6日（月）
〔10時～11時30分／薫別集落センター・13時30分～14時／崎無異中野さん宅〕

24日（金）
〔13時～16時／役場相談室〕

■糖尿病健康相談（予約制）

29日（水）
〔10時～16時／役場相談室〕

■大腸がん検診

28日（火）
〔9時～9時30分／農改センター〕
〔13時～13時30分／川北公民館〕

★お問い合わせは、役場福祉保健課

（☎内線129・131・138）までお気軽に。

ごみの収集日

曜 日	一般廃棄物収集区域 （祭日は休みです）〈有 料〉	不燃物収集日 〈無 料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	11月9日・11月20日 12月7日（木）
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	11月10日・11月21日 12月8日（金）
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	11月8日・11月22日 12月6日（水）

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

募集

公営住宅入居者

町では、現在建設中及び空家となる公営住宅を次の要領で募集します。

■新築公営住宅（緑団地）

▷1種3LDK（一般世帯向け）6戸

▷2種1LDK（老人世帯向け）3戸

※家賃は現在算定中

※入居予定日はいずれも平成7年12月上旬

■既存公営住宅

▷若草団地 2種3LDK 1戸

昭和63年建設 木造平屋建

家賃：月額28,800円

入居可能日：平成7年11月下旬

▷若草団地 2種3LDK 1戸

平成元年建設 PC版2階建

家賃：月額30,000円

入居可能日：平成8年1月中

▷川北団地 2種3LDK 1戸

昭和61年建設 木造平屋建

家賃：月額28,200円

入居可能日：平成7年11月下旬

■申込方法 所定の申込用紙を提出してください。

■締め切り 平成7年11月15日（水）

★申し込み・問い合わせは、役場建設課住宅管理係（☎内線212）まで。

産業後継者の皆さん 植林をしませんか

町では、備荒、備蓄林などの造成のために、植林をする産業後継者を募集しています。

■対象者

農業、林業、漁業、商工業のいずれかの経営継承かつ結婚を予定されている方

■苗木の種類

アカエゾマツ 300本以内

カラマツ 150本以内

■その他

①苗木は無償で差しあげます。

②植林する土地の無い方は町がお貸しします（この場合、町と分収契約を結ぶことになります）。

③記念として、町から標識看板を差しあげます。

★申し込み・問い合わせは、役場農林課（☎内線214・234）まで。

サーモン科学館 秋の実習参加者

■日時及び実習内容

①11月19日（日）②11月23日（木）

③11月26日（日） 10時～15時

内容：シロザケ採卵受精作業と産卵行動

場所：サーモン科学館

■募集人員 いずれも20人

■申込み

実施日の3日前までにハガキまたはファックスにより氏名、連絡先を同科学館までお知らせください。

（☎2-1141・FAX2-1112）

税金

11月11日～17日は 税を知る週間です

「この社会あなたの税が生活している」をスローガンに、11月11日から17日を「税を知る週間」とし、今年も広く国民の皆さんに税の意識や役割を正しく理解し、考えていただけるよう各種行事を幅広く行います。

■主な行事の内容

税のなんでも相談、税金クイズなど

★詳しくは、根室税務署（☎01532-3-3261）まで。

年末調整・決算説明会が 開催されます

本年度も申告事務の円滑化を図るため次のとおり説明会を開催します。

■個人（青色・白色）事業者に対する年末調整・決算説明会

▷漁業

日時：11月27日（月）14時～16時

場所：標津漁協会議室

▷宮庶業

日時：11月28日（火）10時～12時

場所：標津町役場2F集会室

■会社：官公庁に対する年末調整説明会

日時：11月28日（火）14時～16時

場所：標津町商工会会議室

★詳しくは、根室税務署（☎01532-3-3261）まで。

相談

「特設人権相談所」が 開設されます

～12月4日から10日までは

「人権週間」です～

次のとおり「特設人権相談所」を開設します。費用は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

■日時 12月5日（火）

午後1時～午後4時

■場所 役場1階会議室

■相談員 法務局職員、人権擁護委員

■相談事項 夫婦親子、相続、金銭貸借、

不動産、借地借家、いじめ、

体罰、名誉信用、差別、公害

などの問題、その他心配事

★私の町の人権擁護委員

正田敏一（栄町）☎2-2103

渡辺文雄（川北寿町）☎5-2837

※人権相談所開設時以外でも随時相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

国民年金

老齢基礎年金は69才まで 加入できます

～みんなが加入し、みんなで支える

国民年金シリーズ⑤～

老齢基礎年金を受給するためには、保



しかし一年経ってみると、オホーツク海から吹いてくる新鮮な風、新鮮なお魚と同様に皆さん人情に厚く、おおらかな人柄には敬服しております。

私は旭川で生まれ育ち、生まれて初めて他の土地に、つまりご縁がありまして標津町の町民になりました。

商農都市旭川市から、標津町に来た時は、なにか外国へでも来たような気持ちになりました。衣食住は勿論のこと気候の違いなどで不安な日もありました。



平間 浩子さん (桜木町)
=主婦=

『標津町に根をおろして』

先月旭川の友人の結婚式を兼ねて実家に寄ってきましたが、私の元気な顔を見て両親も大変喜んでくれました。これも結局は環境の良い標津の町が原因かと思感謝しています。私の人生つまり将来に向かって、なにか、この魅力ある大自然にのめり込んでゆくような希望が湧いてきました。

現在私は、アルバイトで標津町役場の仕事のお手伝いをしていますが、地方自治体の仕事は今まで全く知りませんでした。この度仕事に従事させていただきまして、役所の業務は、縁の下の方持ちのような責任の重い地味な仕事だということがちよっぴりわかりました。

そして、標津町の人達は町の活性化、経済、防災などについて、とても真剣で一生懸命だということもわかりました。昨年十月四日の東方沖地震、あの時のことは今でもはっきりと覚えています。私は今まで震度三以上の地震を経験したことがありませんでした。

ですから、昨年の大地震が起きた時は地面の揺れは止まっても、体の震えが止まらず、どうすることもできなかったのです。そんな私を恐怖から救ってくれたのは、標津町のしっかりとした防災対策でした。つい先日行われた防災訓練では、避難した際の炊き出しなども行われました。地震の果ともいえる日本列島、この先なにが起こるかかわからないけれど、万が一のことがあっても、訓練の成果が実ることだろうと思いました。

この一年、良いこと、悪いこと、色々ありましたが「やはり標津町に来てよかったな!」と、私はつくづく思っています。

次の「まちの声」は、双葉町の竹森睦子さんです。

戸籍の窓口から (9月11日～10月10日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
櫻井 早紀ちゃん	寿 町	櫻井 英樹・美和子
村山 陽平くん	伊 奈 仁	村山 満夫・ひとみ
伊藤 紅葉ちゃん	曙 町	伊藤 秋男・望 美
菅原 汐里ちゃん	桜 木 町	菅原 博行・富士子
森井まりのちゃん	西 川 北	森井 義文・あゆみ
桶谷 有里ちゃん	若 草 町	桶谷 秀人・晴 美
小野 吾くん	鳩ヶ丘町	小野 勉・静 香
浦野奈緒子ちゃん	若 草 町	浦野 昇・勝 美
若杉 真希ちゃん	茶 志 骨	若杉 昌人・明 美
渡部 生海ちゃん	本 町	渡部 貢・由美子
今野 春菜ちゃん	寿 町	今野 正広・あや子

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
三浦 也人さん	坂本ルミ子さん	曙 町
井上 玲さん	鈴木 厚子さん	曙 町

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
伊藤 幸子さん	緑 町	70歳
梅木 道雄さん	薫 別	74歳
高橋 明さん	川 上 町	75歳
丹伊田アキノさん	弥 栄 町	85歳

人 口	6,804人 (- 1)
男	3,300人 (- 2)
女	3,504人 (+ 1)
世帯数	2,332世帯(- 1)

※平成7年9月1日現在()は前年比

編集のまど

▷東方沖地震から、ちょうど1年…。あの恐ろしさは、今でも忘れることができません。地震後、数カ月は「また大地震が起こるのでは…」と恐怖におびえ、避難用の非常持出し品を玄関に置くなどして、地震に備えていました。▷しかし、時が経つにつれてもう大丈夫ではと、安易な考えに変わりつつある今日。今一度気を引き締め、各家庭で防災チェックをする必要があるのではないかと思います。(ひ)